

様式 5

平成30年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成30年6月13日

学 長 殿

所属部局・職名共生システム理工学類・准教授

申 請 者 名 永幡 幸司

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・ <input checked="" type="checkbox"/> 学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	Euronoise 2018 での研究発表
事業実施期間	平成30年 5月 ～ 平成30年 5月
成果の概要	<p>平成30年5月27日～31日に渡って、ギリシャのクレタ島で開催された Euronoise 2018(欧州騒音制御工学会議)の Soundscape in Standardization と題されたセッションにおいて、“Linguistic issues we must resolve before the standardization of soundscape research”と題する招待講演を行った。</p> <p>当該セッションは、現在、申請者もエキスパート・メンバーとして参画している ISO TC 43/SC 1/WG 54 におけるサウンドスケープに関する国際標準(International Standard)の制定に係る問題を議論するセッションであり、WG54 の主要メンバーが集結していた。そのようなセッションにおいて、申請者は、国際標準を議論するにあたり、言語の違いがサウンドスケープ研究における主要概念や主要用語の理解に与える影響について論じ、これまでの標準制定の議論の中では、この観点が非常に弱かったということ指摘した。</p>